

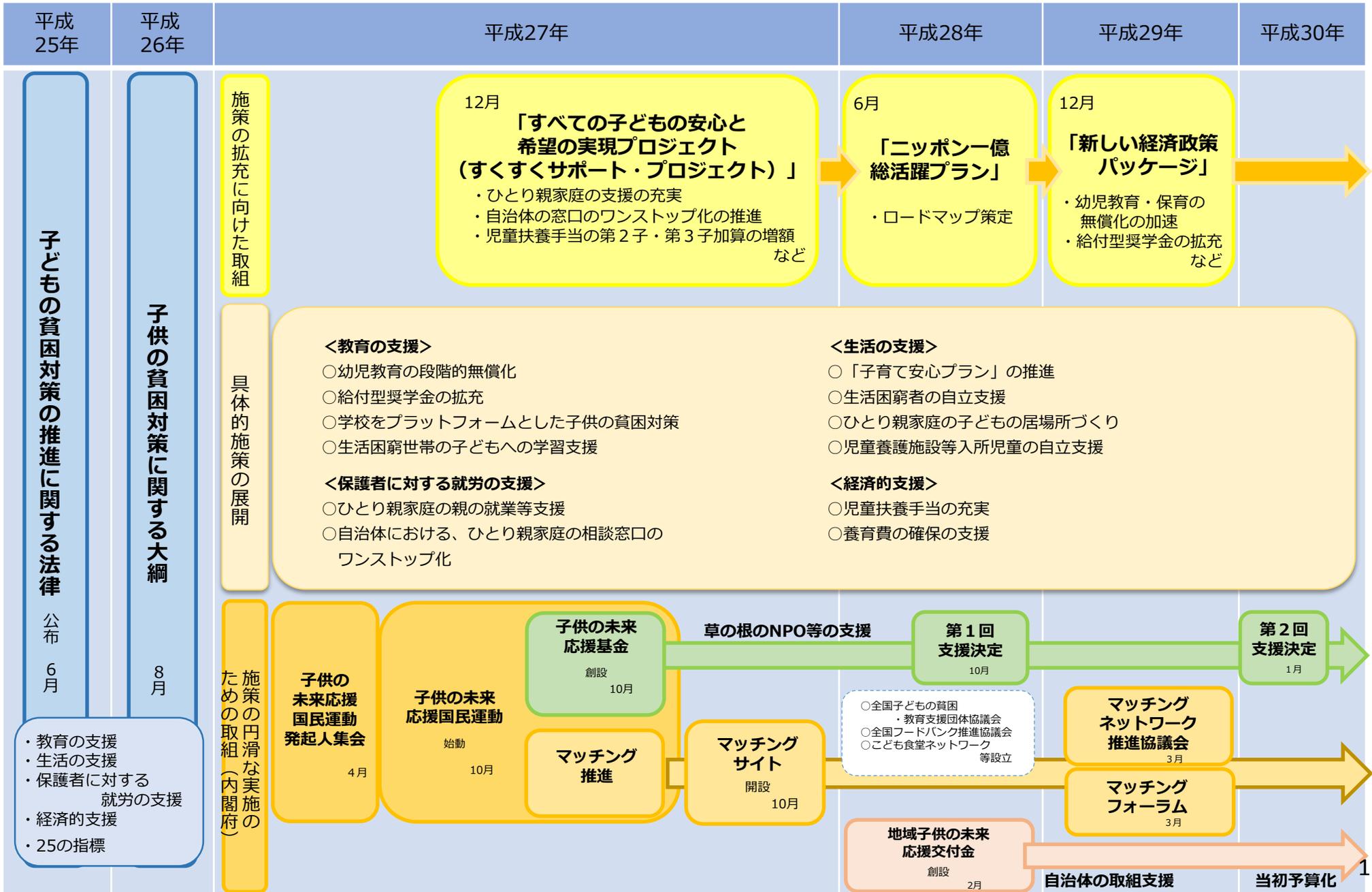


子供の未来応援基金について

平成30年8月

子供の未来応援国民運動推進事務局

政府における子供の貧困対策



子供の未来応援基金の創設

子供の貧困対策大綱 (抜粋)

(平成26年8月29日閣議決定)

子供の貧困対策が国を挙げて推進されるよう、国、地方公共団体、民間の企業・団体等による**ネットワークを構築**し、各種支援情報等の収集・提供や子供の貧困対策に関する優れた取組等に対する表彰事業の実施、**民間資金を活用した支援**など**官公民の連携・協働プロジェクト**を推進する。また、このような取組や既存の制度・施策等について積極的に情報発信し、国民の幅広い理解と協力の下に**子供の貧困対策を国民運動として展開**する。

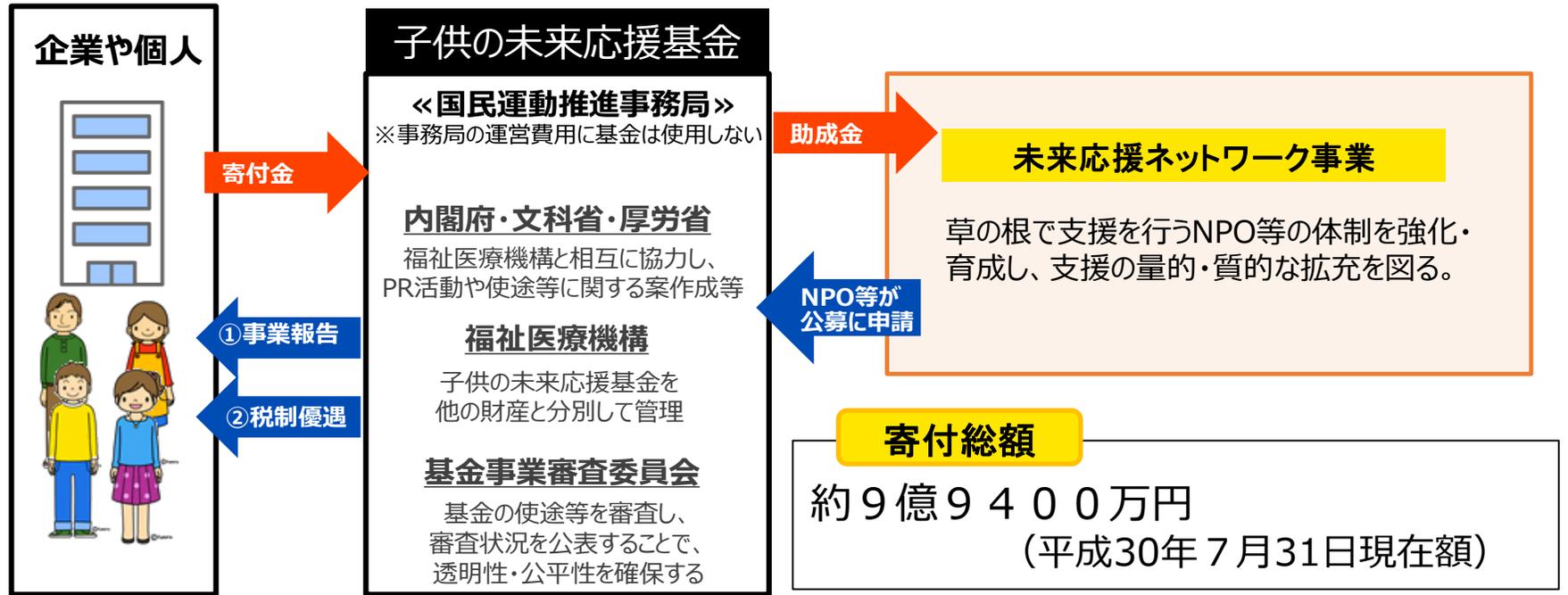


法律及び大綱に基づき、国民の力を結集して
全ての子供達が夢と希望をもって成長していける
社会の実現を目指し
子供の未来応援国民運動を始動



国民運動の一環で、
誰もが子供の貧困対策のために行動し、
また、民間同士が支え合える仕組みとして基金を創設

子供の未来応援基金（未来応援ネットワーク事業）



第2回支援

- 352団体から申請のあった事業の中から、①計画性、②連携とその効果、③戦略的な広報、④継続性の観点等から審査を行い、79団体を採択することとなった。
- 支援総額は約2億6600万円であり、1団体当たり平均約337万円を支援する（事業類型別の整理は右のとおり）。

※第1回は86団体を採択（支援総額 約3億1500万円）。

第2回未来応援ネットワーク事業 事業分類別 内訳	団体数(件)
様々な学びを支援する事業	20
居場所の提供・相談支援を行う事業	14
衣食住など生活の支援を行う事業	15
児童養護施設等の退所者を支援する事業	5
児童又はその保護者の就労を支援する事業	8
里親又は特別養子縁組の斡旋を実施又は支援する事業	1
その他、貧困の連鎖の解消につながる事業	16

民間資金を活用した支援が必要な理由

公助

国、都道府県、市町村

貧困の状況にある子供たちの抱える困難やニーズは多様であるとともに、貧困であるという自覚がなかったり、あっても表に出さないため、実態が分かりにくい。
⇒一人ひとりに寄り添ったきめ細かな支援が難しかったり、必要な支援が届かないこともある。

教育の支援、生活の支援等の各種施策

共助

大学等

企業

国民

寄付等



子供の未来は日本の未来

子供の未来応援基金

「子どもの貧困を何とかしたい」と思っている企業・個人等が、基金を通じて支援団体に協力を行っていただくことにより民間同士がつながる。

⇒応援ネットワークの構築

強化育成

NPO

(例 豊島子どもWAKUWAKUネットワーク、フードバンク山梨等)

貧困の状況にある子供等に寄り添って草の根で支援を実施

公益法人

任意団体等

支援



貧困の状況にある子供等

互助・自助

親類等

友人
隣人

養育費等

困った時の助け合い

- 地域単位で活動する団体が多く、当事者に身近であるため、当事者の状況を把握しやすい。
- 一人ひとりの状況に基づき、制度の枠を越えて弾力的にニーズに沿った支援や活動がしやすい。
- しかし、零細運営が多く、NPO等同士でのノウハウの共有や横展開が不十分

子供の未来応援基金に関する活動実績

平成27年	4月2日	子供の未来応援国民運動 発起人集会 ※趣意書採択
	10月1日	子供の未来応援国民運動 本格始動。寄付受付を開始。
	10月19日	子供の未来応援国民運動 発起人会議 ※発起人一同より各界各層へ基金への協力を呼び掛け
平成28年	2～3月	経団連において各種会議を通じ、基金への協力を呼び掛け
	6月27日 ～7月29日	子供の未来応援基金による支援団体の公募実施
	10月25日	子供の未来応援基金による支援団体(NPO等86団体)を決定
	11月8日	子供の未来応援国民運動 一周年の集い
平成29年	2月14日	経団連幹事会講演において、加藤大臣(当時)より基金への協力を呼び掛け
	5月30日	日本商工会議所において、全国の商工会議所宛てに基金への協力を呼びかける通知発出
	10月	独立行政法人福祉医療機構が推進事務局に加入。子供の未来応援基金管理法人となる。
	10月10日 ～11月10日	子供の未来応援基金による支援団体の第2回公募実施
平成30年	1月19日	子供の未来応援基金による支援団体(NPO等79団体)を決定

※ 平成28年1月以降、随時事務局において広報・募金活動や民間企業等へ協力依頼を実施

「子供の未来応援基金への御協力について」(平成27年10月19日)

子供の未来応援基金への御協力について

平成二十七年四月二日、私たちは、「子供の未来応援国民運動」趣意書を採択し、「いわゆる貧困の連鎖によって、子供たちの将来が閉ざされることは決してあってはならない。子供たちと我が国の明るい未来をより一層輝かしいものとするため、今こそ国民の力を結集して全ての子供たちが夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指してまいります」と呼びかけました。

子供の貧困を放置すれば、社会を支えていくはずの子供たちが、いわゆる「貧困の連鎖」により、支えられる側になる恐れがあり、人材の減少や市場の縮小、社会保障費の増大といった少子高齢化の負の影響に拍車がかかります。

将来、社会の担い手となる子供たちの未来を応援することは、「慈善事業」とどまらず、我が国の未来を明るく活力あるものにするために必要な「未来への投資」に他なりません。

このような考えに基づき、国民の力を結集して、社会全体で子供の貧困対策に取り組み、貧困の連鎖を解消するとともに、積極的に人材を育成していくための仕組みとして、新たに「子供の未来応援基金」が創設されました。

つきましては、是非とも、本基金の意義と必要性を御理解いただき、貧困の状況にある子供たちの未来を応援し、ひいては我が国の明るい未来を切り拓くために、皆様から御支援いただけますようよろしくお願い申し上げます。

平成二十七年十月十九日

「子供の未来応援国民運動」発起人一同

内閣総理大臣
内閣官房長官
内閣府特命担当大臣（少子化対策、男女共同参画）
文部科学大臣
厚生労働大臣
旭化成取締役会長、日本経済団体連合会審議員会副議長
につぼん子育て応援団共同代表
日本民間放送連盟会長、TBSテレビ代表取締役会長
全国母子生活支援施設協議会会長
日本生命保険代表取締役会長、日本経済団体連合会副会長
子育てひろば全国連絡協議会理事長
東北福祉大学特任教授、前茨城県高萩市長
日本労働組合総連合会会長
第一生命保険代表取締役会長、日本経済団体連合会前副会長
元日本・東洋太平洋フットボール級チャンピオン、SRSボクシングジム会長
日本財団会長
日本新聞協会会長、読売新聞グループ本社代表取締役社長
あしなが育英会会長
お好み焼き「千房」社長
全国児童養護施設協議会会長
全国町村会長、長野県川上村長
新日鐵住金相談役名誉会長、日本商工会議所会頭
山科醍醐こどものひろば理事長
日本放送協会会長
全国市長会長、新潟県長岡市長
全国知事会長、京都府知事
全国母子寡婦福祉団体協議会理事長
キッズドア理事長

安倍 晋二
菅 義偉
加藤 勝信
馳 浩
塩崎 恭久
伊藤 一郎
安藤 哲也
井上 弘
大塩 孝江
岡本 園衛
奥山 千鶴子
草間 吉夫
神津 里季生
斎藤 勝利
坂本 博之
笹川 陽平
白石 興二郎
玉井 義臣
中井 政嗣
藤野 興一
藤原 忠彦
三村 明夫
村井 琢哉
村井 勝人
森 民夫
山田 啓一
吉村 マサ子
渡辺 由美子

(伊藤一郎発起人代表以下、五十音順)

企業からの御支援



※上記は御支援いただいた企業様の一部です。その他にもたくさんの企業様から御支援をいただいています。

企業等による特性を活かした子供の未来応援基金への御協力①

ポイントプログラムの寄付メニュー



■(株)NTTドコモは、ポイントプログラム「dポイントクラブ」の利用メニューに、基金への寄付メニューを創設。
(平成28年1月～)



をクリック

利用メニュー画面

をクリック

スマホ・パソコンで寄付ができます!



■楽天グループは、「寄付月間」の公式認定企画として、インターネット募金サービス「楽天クラッチ募金」を通じて、楽天ポイント等による基金への寄付受付を実施。



寄付月間バナー

実施期間／平成29年12月1日～12月28日

従業員参加型のCSR活動による寄付



日清食品ホールディングス



■日清食品ホールディングス(株)は、従業員参加型のCSR活動を実施し、参加費相当額を基金に寄付。

実施期間／平成28年4月～9月
平成28年12月～平成29年4月
平成29年12月～平成30年7月

第21弾「六十周年寝太郎プロジェクト」

店舗などに募金箱を設置



■(株)イトーヨーカ堂は、全店舗の会計レジに募金箱を設置。(毎年3月～5月)平成30年から、(株)セブン&アイ・フードシステムズにも拡大して実施。(デニーズ全店舗とファミリーの一部店舗)

実施期間／平成28年3月1日～4月14日
平成29年3月1日～5月31日
平成30年3月1日～5月31日



店頭ポスター



■タマホーム(株)は全店舗に募金箱とポスターを通年設置。
(平成28年6月～)

寄付型自動販売機の設置

■売上げ1本につき10円が基金に寄付される、ディック・ブルーナ氏のイラスト入りの寄付型自動販売機。
(平成30年6月～)



チラシ

内閣府にも設置

企業等による特性を活かした子供の未来応援基金への御協力②

本業を活かした寄付の仕組みを創設



■古本による寄付のしくみ「こどものみらい古本募金」(平成28年11月～)

読み終えた本等を、提携会社(株)バリューブックス宛てに送ると(合計5点から送料無料)、買取金額が基金に全額寄付される。
対象商品：本、DVD、CDアルバム等



■物品による寄付のしくみ「子供の未来応援お宝エイド」(平成28年12月～)

不要になった物品を、提携会社TMコミュニケーションサービス(株)宛てに送ると(送料無料)、買取金額に10%上乗せした金額が基金に寄付される。
対象商品：切手、はがき、貴金属、ゲームソフト、楽器等



■子供服による寄付のしくみ「こども服みらいファンド」(平成29年10月～)

着られなくなった子供服を提携会社(株)キャリーオンに送ると(送料無料)、買取金額が基金に全額寄付される。原則10点以上。
対象商品：新生児～140サイズまでの子供服 ※一部量販店商品のブランドは除く



こどものみらい古本募金チラシ



子供の未来応援お宝エイドチラシ



こども服みらいファンドチラシ

国民運動におけるマッチング事業

マッチングサイト

<https://www.kodomohinkon.go.jp/matching/>

○企業ができる協力内容と、NPO等のニーズの双方を掲載し、相互に検索できるようにしたもの。

(特徴)

- ・ホームページ上で実施するため全国的なマッチングが可能
- ・多様なニーズに対応可能



マッチングフォーラム

○企業とNPO等団体の、顔の見える交流を行うもの。

(特徴)

- ・支援をする側と支援される側が直接会うことで、マッチングを促進



マッチングネットワーク推進協議会

○全国的にネットワークを有する団体が当該団体に加盟する団体と企業とをつなぐもの。

(特徴)

- ・比較的大規模な支援にも対応可能



マッチングフォーラム

29年度は全国8箇所(さいたま、新潟、姫路、高松、仙台、長野、福岡、柏)で「子供の貧困対策 マatching・フォーラム」を開催。

政府からの現状説明 (姫路)



有識者による講演 (新潟)



パネルディスカッション (さいたま)



自由交流会 (姫路)

